

1. 単元名 郷土の発展に尽くす

2. 単元のねらい

- ・ 井戸平左衛門の願いや工夫、努力、苦心、地域に及ぼした影響などについて関心をもち意欲的に調べたり、井戸平左衛門の努力によって発展してきた地域に対する誇りや愛情をもち、地域のよりよい発展について考えることができる。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- ・ 井戸平左衛門の働きから学習問題を見い出したり、地域の人々の願いや努力と井戸平左衛門の働きや苦心とを関連付けて考え、根拠を示しながら説明することができる。 【社会的な思考・判断・表現】
- ・ 地図や資料、インターネットなどを活用して、井戸平左衛門についての必要な情報を収集し、読み取ったり、調べたことを用いてホームページに載せる作品をまとめたりすることができる。 【観察・資料活用の技能】
- ・ 井戸平左衛門の願いや工夫、努力、苦心、地域に及ぼした影響や井戸平左衛門の働きによって生み出された地域社会の特色や良さなどについて理解することができる。

【社会的事象についての知識・理解】

3. 単元について

(1) 教材について

本単元は、以下に示す小学校学習指導要領第3学年及び第4学年の内容(5)のウの指導事項を受けて設定したものである。

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

地域の発展に尽くした先人である井戸平左衛門の働きにより、人々の生活がよりよく変化し、生活が向上してきたということを理解できるようにし、仁摩町や大田市に対する誇りと愛情を育てることをねらいとしている。

井戸平左衛門は1731年(享保16年)に、第19代目の石見銀山領大森代官として江戸からやってきた人物である。その当時の西日本は大飢饉におそわれ、餓死する人々があとを絶たない状況であった。大森も飢えに苦しむ人々が多く、生活は非常に困難であった。平左衛門はそんな地域の人々を救いたいという一心で、他国への持ち出しを禁止されていた唐芋を危険を冒しながらも手に入れ、栽培をし、多くのさつまいもを収穫することができた。人々の命を救い、地域の生活の向上に尽くした平左衛門は芋代官と言う呼び名で親しまれるほど、大田市内では大変有名な人物である。市内の人々の平左衛門に対する感謝の気持ちは厚く、その功績を称え多くの石碑や井戸神社が建立されている。また、現在でも市内では毎年お芋の祭りが行われており、さつまいもの収穫を祝って様々な芋料理を出品したり、平左衛門の資料や石碑の写真などを展示したりし、平左衛門に対する思いは続いている。仁摩町内にも平左衛門を称える石碑が5基あり、そのうちの1基は学校のすぐ傍に建っている。本教材は、地域の人々の生活の向上に尽くした井戸平左衛門の働きや苦心を考えることのできる教材であり、その存在が今の仁摩町に繋がっていることに気付かせるために有効な教材である。また、石碑が自

分たちの地域にあるので見学等で実際に調べることができる。さらに、石碑を建立した地域の人々の心を感じ取り、地域への誇りと愛情を育てるためにも有効な教材であると考え。

当時は収穫したほとんどの芋が腐ってしまい、芋を定着させることが難しかった。そんな中、床下に穴を掘り、その周囲にわらをかぶせて冷たい風が当たらないようにして保存することに成功したのが、温泉津町福光に住んでいた松浦屋与平衛である。同じく、平左衛門から依頼され、2年間薩摩へ赴き、さつまいもの栽培方法を研究した人物が、江津市渡津町に住んでいた医師の青木秀清である。秀清が行ったのは種芋からつるを育て、それを切って植えた方法と考えられている。人々の生活を救ったさつまいもについて、栽培や保存方法を調べ、体験することで、当時の人々の生活背景や工夫を知ることができる。また、次の4年生に芋の苗を引き継ぐという意欲をもって学習に臨むこともできる教材である。

平左衛門の学習は市内の各小学校で行われているが、自分の地域の情報（石碑や受け継いできたさつまいもの料理方法など）しか伝わっていないことが多く、他の地域の平左衛門に関する情報は広まっていない。自分の地域の情報を他の学校の友だちに広めるという目的をもち、ホームページを作成することを通してインターネットの活用能力を高めるためにも有効な教材である。

(2) 児童について

省略

(3) 指導について

本単元では、地域の人々の生活の向上に尽くした先人である井戸平左衛門について調べ、情報を整理・分析しながらホームページを作成することを通して、平左衛門の働きや苦心を考えたり地域への愛情を深めたりすると共に、目的意識をもって発信していくようにする。

第一次では総合的な学習の時間に行った「仁摩の良さ」とも関連させながら、井戸平左衛門を紹介する。学校下の石碑の写真の提示し、石碑が建てられるほどの偉人が自分たちの地域にいたということを感じることができるようになりたい。その気持ちをもつことで、平左衛門についてもっと知りたいという興味・関心が高まり、意欲的に単元に取り組むことができるであろう。また、平左衛門について家族にインタビューをする中で、「芋代官」というキーワードが出てくると考えられる。そのキーワードを受けて平左衛門とさつまいもの関連を考えていくようにする。また、実際に5年生から引き継いださつまいもを種芋として、自分たちの手で栽培を行うことによって、さつまいもの特徴を学んだり、栽培の苦勞を感じたりすることができるようにする。その際、松浦屋与平衛や青木秀清が行った栽培・保存の方法を調べ、実際に行いながら、次の4年生に苗を引き継ぐことを目標にして栽培活動の意欲を高めたい。

第二次では、平左衛門の働きによって人々の生活が向上したことを理解できるようにするため、平左衛門の願いや工夫、努力、苦心などを様々な事柄から考えていく。また、平左衛門の働きと人々の願いや努力がどのように関わっているのかを考えさせるため、1つ1つの出来事について予想を立てながらを進め、考えが深まるようにする。また、特に石碑が広範囲にわたり多数存在していることから、大田市中の人々が平左衛門に対して感謝の念を持っていたこと、そして平左衛門の働きがそれほどまでに大きかったのだということ、そしてその思いは今も受け継がれていることを感じ取らせたい。そのために地域講師を招き、平左衛門の思いや当時の石碑が建てられた場所の様子、道路工事が行われても石碑を移動させて守ったことなどの詳しい話をしていただく。

また、地域の人々を大切に思い、守るために尽力を尽くした平左衛門の働きを学ぶことを通して、平左衛門の思いを引き継ぎ、大切な仁摩町の人々のために自分にできることを考え、実行しようとする気持ちをもてるよう指導していきたい。

第三次では、これまで学習してきたことの中から他の学校の友だちに資料として提供したい情報や伝えたい情報をグループごとにまとめ、ホームページに掲載するという形で発信していくことに繋げていく。

まずは、グループごとに決めた課題について、見学や地域の方のお話で得ることができなかった情報について、図書資料から調べていく活動を行う。図書資料は児童にとっては内容を理解することが難しいものが多いため、学校司書と連携し、難しい図書資料を児童自身の力で情報をまとめることができる資料にしておく。調べた内容や見学の際に得た情報は、ホームページの作品を作成する際に活用できるように、情報カードにまとめていく。また、図書資料から知りたい情報が得られない場合は、再度地域講師を招いたり、青木秀清についてなど情報のあるものについてはインターネットから情報収集をしたりするなど、情報の収集の仕方を学ばせるようにしたい。

その後、他の学校の友だちにとって必要な情報は何かを意識しながら情報を整理・分析していくようにする。収集した情報をどのような順番でどの情報をホームページに掲載するか選択していく際に、「はじめ・中・終わり」の流れを意識しながら順番を決めていき、相手が理解しやすい流れになるようにしたい。

本時では、グループで決めたホームページに載せる内容を1人1人が分担して作品(紙で作るパワーポイント)を作成していく。他の内容で教員が作成した作品を見本として提示し、キーワードとなる言葉をもとに文章や絵を構成していくことを捉えさせたい。また、文字の量や大きさ、効果的な絵の使用の仕方などを視覚的に理解できるようにもしていきたい。その際、他の学校の友だちに分かりやすく伝えるためのものであることを押さえ、相手意識をもって取り組むことができるようにしたい。その後、分担する部分の情報カードをもとに、個人で資料を作成していく。カードに書かれている内容の中から平左衛門の学習をする上で必要と思われる情報を重点的にまとめていくよう、児童の傍で支援をしていく。まとめる上で再度調べ直したい情報がある場合には、学校司書が図書資料の提供を行う。最後にグループでそれぞれが作成した資料を見せ合うことで、内容がきちんと繋がっているか、付け加える内容はないか、間違いはないかなどの確認を行うようにしたい。

ホームページへの掲載方法として、作成した資料をタブレットで読み込み、付け加える内容などを編集して取り込んでいく。タブレットを使用することによって、キーボードを使って文字を打ち込むことに慣れていない児童も、紙の作品を読み込み画面に書き込む作業であれば容易にできると考える。最後にグループごとに作成した作品を学級で発表し合う。平左衛門の働きや地域の人々の思い、仁摩の人々が引き継いできたものなどを再度伝え合うことで、今後自分たちが引き継いでいくことへの意欲を高めるようにしたい。

3. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
① 井戸平左衛門の願いや工夫、努力、苦心、地域に及ぼした影響などについて関心をもち意欲的に調べている。 ② 井戸平左衛門の努力によって発展してきた地域に対する誇りや愛情をもち、地域のよりよい発展について考えようとしている。	① 井戸平左衛門の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え、適切に表現している。 ② 地域の人々の願いや努力と井戸平左衛門の働きや苦心とを関連付けて考え、根拠を示しながら説明している。	① 地図や資料、インターネットなどを活用して井戸平左衛門についての必要な情報を収集、読み取っている。 ② 調べたことを用いてホームページに載せる作品をまとめている。	① 井戸平左衛門の願いや工夫、努力、苦心、地域に及ぼした影響を理解している。 ② 井戸平左衛門の働きによって生み出された地域社会の特色や良さなどについて理解している。

4. 単元計画と評価計画（全17時間）

	時	主な学習活動	資料、体験等	評価規準と評価方法
第一次	1	○井戸平左衛門に触れる。 ・総合的な学習の時間の「仁摩の良さを知ろう」との関連から、仁摩の偉人として井戸平左衛門を知る。 ・井戸平左衛門について知っていることを家の人にインタビューする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料以外の利用</div>	・仁摩町にある石碑の写真	関心・意欲・態度－① 〔行動・発言〕
	2	○井戸平左衛門とさつまいもとの関連を知る。 ・さつまいもについて知っていることを話し合う。 ・「芋代官」と呼ばれる所以を予想する。	・さつまいもの図鑑	関心・意欲・態度－① 〔発言〕 思考・表現・判断－① 〔発言・ノート〕
	3	○さつまいもの苗植えをする。 ・5年生から引き継いださつまいもの苗を植える。	・さつまいもの苗植え	関心・意欲・態度－① 〔行動〕 技能－① 〔行動〕
第二次	4	○井戸平左衛門について考え、知識を深める。 ・井戸平左衛門の生い立ち ・代官の役割 ・当時の大森の様子（石見銀山について） ・享保の大飢饉 ○井戸平左衛門の願いや努力、苦心などを知り、平左衛門の思いを考える。	・井戸平左衛門に関する資料(図書資料、パンフレット、漫画など) ・仁摩のガイドブック ・インターネット ・松浦屋与平衛に関する資料 ・青木秀清に関する資料	思考・表現・判断－② 〔発言・ノート〕 知識・理解－① 〔発言・ノート〕
	5	・人々を救うために様々な苦勞をしながら種芋を手に入れ、栽培を始めることについて知る。		
	6	○さつまいもの保存の苦勞について知る。 ・栽培や保存の結果を知り、井戸平左衛門の苦心を知る。 ・松浦屋与平衛、青木秀清について知る。 ・現在のさつまいもの保存の方法について家の人にインタビューをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料以外の利用</div>		
	7	○芋掘りをする。 ・調べてきた保存の方法をもとに、掘ったさつまいもを保存する。	・芋掘り	関心・意欲・態度－① 〔行動〕 技能－① 〔行動〕

	8	○石碑の数から、井戸平左衛門に対する人々の思いを考える。 ・仁摩町の石碑について知る。(5基) ・大田市内の分布図、島根県の分布図から考える。	・市内、県内の石碑の分布図	思考・表現・判断ー② [発言・ノート]
	9 10 11	○石碑等の見学を行う。 ・仁摩町の石碑や芋釜、大森の代官所を見学する。 ・地域の方に話を聞き、情報を収集する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料以外の利用</div>	・石碑、芋釜、代官所の見学	技能ー① [発言・メモ]
第三次	12	○学習したことをもとに、グループごとに発信したいテーマを決める。 ・井戸平左衛門について知ったことの中から、他の学校の友だちに伝えたいこと、学習の手がかりになるようなことをもとにテーマを決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題設定</div>	・井戸平左衛門に関する資料(図書資料、パンフレット、漫画など) ・仁摩のガイドブック ・インターネット	思考・判断・表現ー① [行動・発言]
	13	○情報収集をする。 ・発信のためにもっと知りたいことを資料、インタビュー、インターネットを活用して情報収集する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書資料・図書資料以外の利用</div>	・井戸平左衛門に関する資料(図書資料、パンフレット、漫画など) ・仁摩のガイドブック ・インターネット	技能ー① [行動・情報カード]

5. 本時の活動

(1) 本時のねらい(15時/17時)

- ・ これまでに収集した井戸平左衛門についての情報の中から、キーワードをもとに内容を要約し、他の学校の児童に伝えるための作品を作成することができる。

【観察・資料活用の技能】

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援と留意点		評価(評価方法)
	T1	T2	
1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">みんなに伝えるための作品を作ろう</div>	・他の学校の児童に伝えるために作るという点を確認しながら、児童の言葉でめあてを作るようにする。		

<p>2. 作品の作り方について知る。</p> <div data-bbox="193 199 619 349" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問1 自分の情報カードの中の大切なキーワードは何でしょう。</p> </div> <div data-bbox="183 387 609 501" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示1 作品にのせる内容を要約しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・大切な内容だけ ・短い言葉で <div data-bbox="186 719 616 869" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示2 先生達の作った作品の工夫を確認しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・文字は大きく ・短い文で ・分かりやすい所は絵で表す ・記号なども効果的に使う <p>3. 作品を作成する。</p> <div data-bbox="186 1211 624 1550" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示3 キーワードと要約文を使って、他の学校の友だちに分かりやすい作品を作りましょう。 まずは、1番大切なキーワードをどこにどのように置くかを考えましょ</p> </div> <div data-bbox="196 1588 624 1751" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示4 工夫を考えながら、要約文をもとに作品を作りましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心となる言葉を意識しながら作品を作成できるよう、キーワードを考えさせる。 ・キーワードをもとにどのような内容載せるか整理できるよう、ワークシートに書かせる。 ・相手に分かりやすく伝えることを意識しながら作品を作成できるよう、見本を提示し、キーワードの配置の仕方、文字の量や大きさ、効果的な絵の使用方法などを考えさせる。 ・キーワードを中心に作成することができるよう、最初にキーワードの配置を考えさせる。 ・分かりやすい表し方になるよう、要約文や工夫を使って作成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童のそばで、一緒にキーワードを考える。 ・支援の必要な児童のそばで、キーワードをもとに必要な部分だけ短い言葉で考えるよう支援する。 ・見本をヒントにしなが、一緒に考える。 ・必要に応じて図書資料を提示する。 ・支援の必要な児童のそばで、内容や思いを確認しながら一緒に作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに収集した井戸平左衛門の情報の中から、キーワードをもとに内容を要約し、他の学校の児童に伝えるための作品を作成することができる。(作品)
---	--	--	--

<p>4. グループで作成した作品を見せ合い、確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>指示5 グループで作品を順番に確認しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・内容がつながっているか。 ・付け加えた方がいいところはないか。 <p>5. 振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わる作品になっているかを確認するために、順番に並べてみたり具体的な改善点を伝え合うようにしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの傍で一緒に確認をする。 	
--	---	--	--

(3) 予想される児童の具体的な姿

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
<p>これまでに収集した井戸平左衛門の情報の中から、キーワードをもとに内容を要約し、他の学校の児童に伝えるための作品を作成することができる。</p>	<p>収集した井戸平左衛門の情報の中から、キーワードをもとに内容を分かりやすく要約し、他の学校の児童に伝えることを意識しながら文字の大きさや文章の量、絵や文字の配置の仕方、記号の使い方などを工夫しながら作品を作成することができる。</p>	<p>これまでに収集した井戸平左衛門の情報の中から、キーワードをもとに内容を要約し、他の学校の児童に伝えるための作品を作成することができる。</p>	<p>収集した情報を整理することができない。 →情報カードの内容を確認し、要約文と一緒に作る。 作品を作成することができない。 →伝えたい内容やレイアウトなどを確認しながら一緒に作成する。</p>

(4) 研究の視点

キーワードを捉えたり要約文を考えたりする活動は、相手に伝わる分かりやすい作品を作成する上で有効な手立てであったか。